

11. 日本陶芸展・日本伝統工芸展に 5回連続入選された山口の陶芸作家

田中講平先生を新しい陶房を訪ねて

2002. 5. 5. by M. Nakanishi



昨年秋 美祢市を離れ、山口市の西にそびえる鳳翔山の麓
山口市吉敷に新しい陶房 葉月 を開かれ、
新しい作陶活動に益々ご活躍の萩焼窯元 田中講平先生
私たちが美祢を離れ、すっかりご無沙汰していましたが、
新しい山口の陶房「葉月」を訪ね
いつも変わらぬ田中先生ご夫妻の歓待に感激

陶芸の最高峰 「日本伝統工芸展」や「日本陶芸展」に昨年までもう入選も連続五回を重ねられ、新しい作陶を次々発表され、もう大陶芸作家の風格。でも いつもおおらかでわけへだてのない先生ご夫妻。先生の代表作 澄んだ青白磁の中央でそっとお互いに寄り添って流れる列状文様の大皿の美しさ そのままに。

そして今度訪ねると新しい技法を取り入れた萩焼きでさらに連続入選されたとか・・・
田中先生夫妻にはいつも新しい創作へ息吹きを感じ、また楽しい語らいに気分リフレッシュで帰ります。次 お会いする時がまた 楽しみです。

久しぶりの山口 田中講平先生の工房「葉月」を訪問して
2002. 5. 5. M. Nakanishi

萩焼窯元 陶房 葉月 田中講平先生の作品から
<http://www.ne.jp/asahi/kikuko/nakanishi/tnk.htm>

第15回 日本陶芸展 入選

主催 毎日新聞社 場所 大阪 心斎橋 大丸
1999. 6. 10 tnk.htm



田中講平先生入選作 青白磁流紋鉢



美祿で親しくさせていただいた田中講平先生が4回連続で日本陶芸展に入選され、その第15回日本陶芸展が大阪心齋橋の大丸で6月10日ー15日まで開催されています。

早速仕事が終わった後 大丸へでかけました。

沢山の力作の中、あの素晴らしい色合いの青磁大鉢が堂々と中央に展示されていました。

家内は京都の友人と15日に行く予定です。田中先生 本当におめでとうございます

1999. 6. 10. 神戸 中西睦夫

白熱の中の創造 第15回日本陶芸展

日本陶芸展は、1971年に第1回を開催して以来、2年に一度のビエンナーレ方式で開かれている国内最大の『陶芸の祭典』です。

回を重ねることに作風と技法は向上し国内はもとより海外からも熱い注目を集めています。

本展は、日本陶芸界を代表する巨匠20名による〈招待作家部門〉、中堅実力作家50名による意欲作を集めた〈推薦作家部門〉さらに新人作家の登竜門として、優れた才能を発掘することを目的とした〈一般公募部門〉の3部門で構成されています。公募部門では841点の中から、147点の作品が選ばれ展示されています。

『土と炎との新たなる挑戦から生まれた芸術』

伝統の技法の中にさらなる技を育み、そこに独目の創意と美意識を展開する作家たちの力作約220点が一堂に展示されています。田中先生の作品もそんな中で落ち着いた味わいの中で燦然と輝いています。



【田中講平先生の作品の周辺で】

夕方6時過ぎに出かけたため、会場の中でフラッシュ使えず、画像が鮮明でなくすみません。
会場の雰囲気を感じてください。



1999. 6. 10. 大阪にて by Mutsuo Nakanishi